

今回の訓練では、備蓄や表示板についてなど、さまざまな疑問・意見・感想が出されました。現在の須崎市の取り組みも踏まえてまとめていますので、ご参照ください。

避難場所や避難道はどのように整備しているのか？

平成24年度から緊急避難場所への避難道の整備を集中的に行っています。整備箇所については、市内8地区の連絡協議会から申請されたものを整備しています。

簡易な手すりの設置や舗装

などについては、自主防災組織が実施しています。お近くの公民館や自主防災組織にご相談ください。

また、災害時の状況によっては想定している避難場所・避難道が使用不能になる可能性もあります。迂回路を含めた複数の避難経路をご検討ください。

災害時の食料はどうなっているの？

須崎市では、まず比較的頻度の高い地震（L1）で想定される避難者の1日分（約24,000食）を目標に備蓄を行うように計画しています。今後、市内8地区の拠点へ分散するように検討していますが、緊急避難場所への備蓄は予定していません。個人や家庭、自主防災組織などでも3〜7日程度の備蓄をお願いします。

市役所の備蓄のイメージ
家庭でも食料・飲料の備蓄を行ってください



夜間に災害が起こったときの対策は？

現在、緊急避難場所の要配慮者避難目標地点付近に順次、避難誘導灯の設置を行っています。しかし、災害はいつ発生するか分かりません。懐中電灯などの準備をお願いします。現在、貸与している卓上型の戸別受信機も懐中電灯として使用できますので、ご活用ください。

避難場所案内や
海拔などの目印になる
ものを増やして！

海拔表示板などについては、順次、増設を予定しています。今回の意見をもとに、市内8地区の防災連絡協議会とも協議のうえ、設置を行っていきます。

災害時の情報収集、
どうすれば？

災害時においては、J-ALERT（全国瞬時警報システム）、防災行政無線および消防サイレンにより発信を行います。

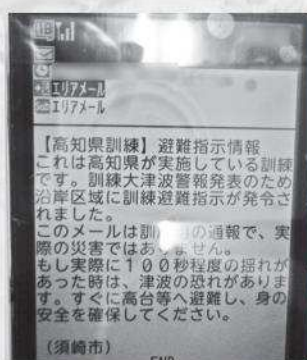
防災行政無線の戸別受信機を未貸与の世帯へは、無償貸与を行っています。地震・防災課までお問い合わせください。また、NTTドコモの「エリアメール」や、KDDI・ソフトバンクの「緊急速報メール」でも発信を行う予定です。※携帯電話の機種によっては未対応のものもあります。詳しくは、携帯電話会社のホームページや、最寄りの店舗でご確認ください。

戸別受信機は、赤い丸ボタンを押すと、懐中電灯としても使えます



トバンクの「緊急速報メール」でも発信を行う予定です。※携帯電話の機種によっては未対応のものもあります。詳しくは、携帯電話会社のホームページや、最寄りの店舗でご確認ください。

緊急時に送られるメール（参考）



ほかに、テレビやラジオなど可能な方法での情報収集をお願いします。

災害への備えや対策は、公助の部分だけではなく、自助・共助による取り組みも非常に重要です。家屋の耐震対策や家具の転倒防止、食糧などの備蓄といった取り組みを進めて行きますよ。

地震・防災課 地震・防災係

042・1236